

Jera

エネルギーを新しい時代へ

2020年度第3四半期連結決算について

(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。
「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。

2021年2月12日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2020/3Q(A)	2019/3Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	19,531	24,464	▲4,933	▲20.2
営業利益	2,720	1,676	1,044	62.3
経常利益	2,846	1,793	1,053	58.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,965	1,578	387	24.5

連結貸借対照表

(億円)

	2020/3Q(A)	2019年度(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	43,055	40,353	2,701	6.7
負債	25,559	24,340	1,218	5.0
純資産	17,495	16,012	1,482	9.3
有利子負債残高	16,260	15,059	1,201	8.0
自己資本比率(%)	39.0	38.2	0.8	

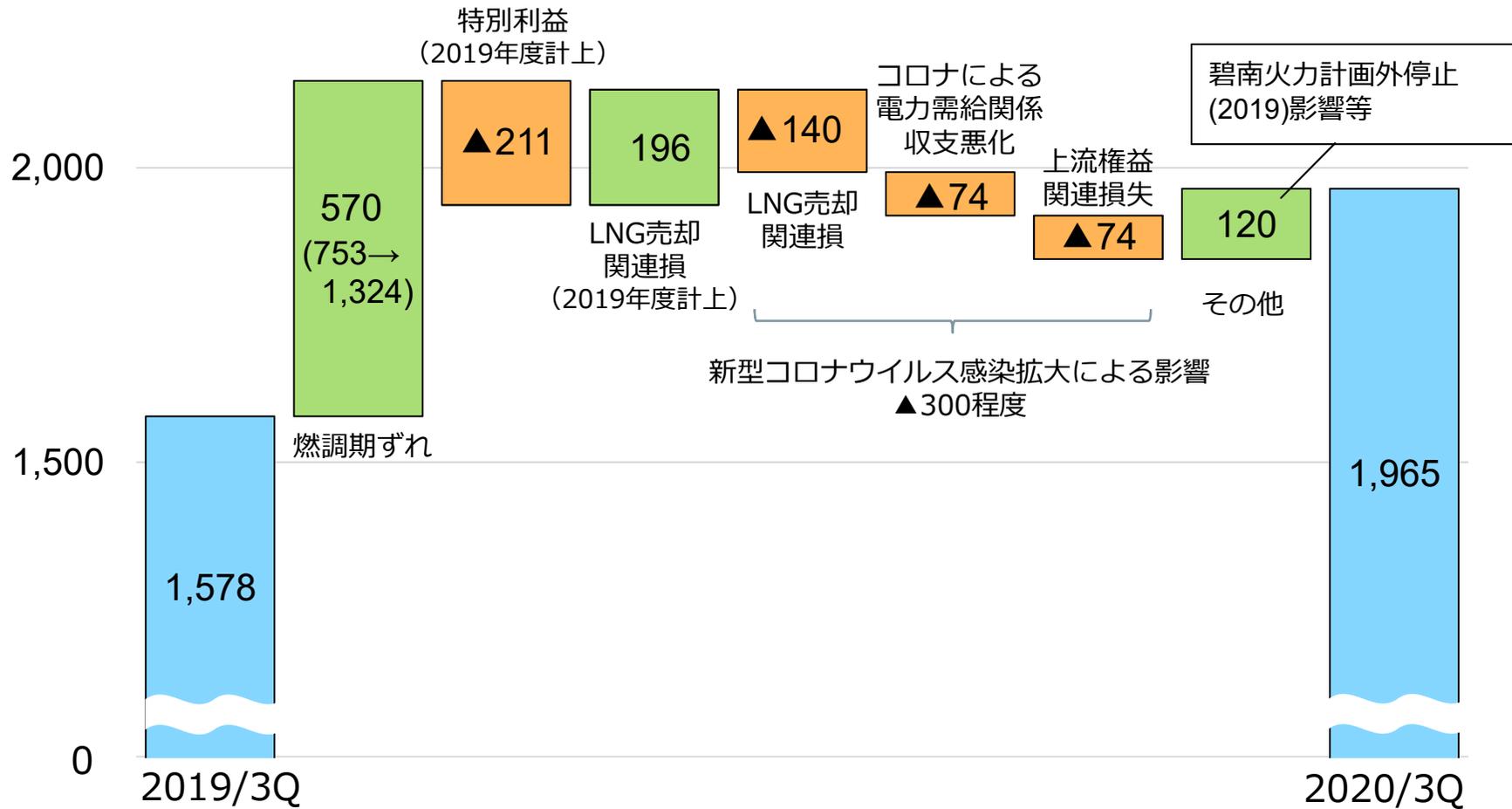
■ 2020年度第3四半期決算のポイント

- 連結売上高は、国内火力・ガス事業において、販売電力量の減少に加え、資源価格低下に伴い収入単価が減少したことなどにより、前年同期比20.2%減の1兆9,531億円。
- 経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大による収支悪化影響はあったものの、燃料費調整の期ずれ差益が増加した（791億円【1,047億円→1,839億円】）ことなどから、前年同期比58.7%増の2,846億円。
- 純利益は、新型コロナウイルス感染拡大による収支悪化影響等はあったものの、燃料費調整の期ずれ差益が増加した（570億円【753億円→1,324億円】）ことなどから前年同期比24.5%増の1,965億円。

連結純利益

【連結純利益の変動要因】

(億円)



※金額は税引後

連結収支比較表

4

(億円)

	2020/3Q(A)	2019/3Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	19,531	24,464	▲4,933	・販売電力量の減少 ・資源価格低下に伴う収入単価の減少 等
営業費用	16,810	22,788	▲5,977	・燃料費の減少等
営業利益	2,720	1,676	1,044	・燃調期ずれ差益 791 (1,047→1,839)
営業外収益	203	233	▲29	・上流権益関連損失による持分法投資利益の減等
営業外費用	78	116	▲38	
経常利益	2,846	1,793	1,053	
特別利益	-	211	▲211	(2019/3Q) 海外発電案件の売却益
特別損失	57	-	57	・上流権益関連損失
法人税等	725	308	416	
非支配株主利益	98	117	▲19	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,965	1,578	387	

	2020/3Q(A)	2019/3Q(B)	増減(A-B)
販売電力量 (億kWh)	1,764	1,977	▲213
原油価格(JCC) (\$/b)	39.0	67.8	▲28.8
為替レート (円/\$)	106.1	108.7	▲2.6

※2020/3Qの原油価格は速報値

連結貸借対照表

6

(億円)

	2020/3Q(A)	2019年度(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び預金	6,300	4,591	1,709	
有形固定資産	20,185	19,896	288	
投資有価証券	5,820	6,133	▲312	
その他	10,748	9,731	1,016	・ 売掛金の増 + 548等
資産合計	43,055	40,353	2,701	
有利子負債	16,260	15,059	1,201	・ 借入金 + 801(うち子会社 + 1,209) ・ 社債 + 400
その他	9,298	9,280	17	
負債合計	25,559	24,340	1,218	
株主資本	17,356	15,660	1,695	・ 株主への配当 ▲270 ・ 四半期純利益 + 1,965
その他	138	351	▲212	
純資産合計	17,495	16,012	1,482	

セグメント情報

(億円)

		燃料事業※	海外発電事業	国内火力・ガス事業	調整額	連結財務諸表計上額
2020/3Q(A)	売上高	6,137	16	17,758	▲4,380	19,531
	セグメント利益(純利益)	307	51	1,901	▲295	1,965
2019/3Q(B)	売上高	6,319	16	21,861	▲3,732	24,464
	セグメント利益(純利益)	250	326	1,170	▲169	1,578
増減(A-B)	売上高	▲182	▲0	▲4,102	▲648	▲4,933
	セグメント利益(純利益)	57	▲275	731	▲126	387

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング

- ・フリーポートLNGプロジェクト運転開始に伴う利益増
- ・上流権益関連損失▲74

(2019/3Q)海外発電案件の売却益▲211

- ・燃調期ずれ +570
- ・(2019/3Q) LNG売却関連損 +196
- ・新型コロナによる収支悪化▲214
- ・(2019/3Q) 碧南火力計画外停止影響

2020年度業績見通し

【業績見通し】

純利益は1,200億円（期ずれを除いた純利益は500億円）と見込んでおります。なお、前回予想（2020/2Q決算公表時）から変更ございません。

（億円）

	今回予想 (A)	前回(2020/2Q)予想 (B)	増減(A-B)	増減率(%)
純利益	1,200	1,200	-	-

【参考】

（億円）

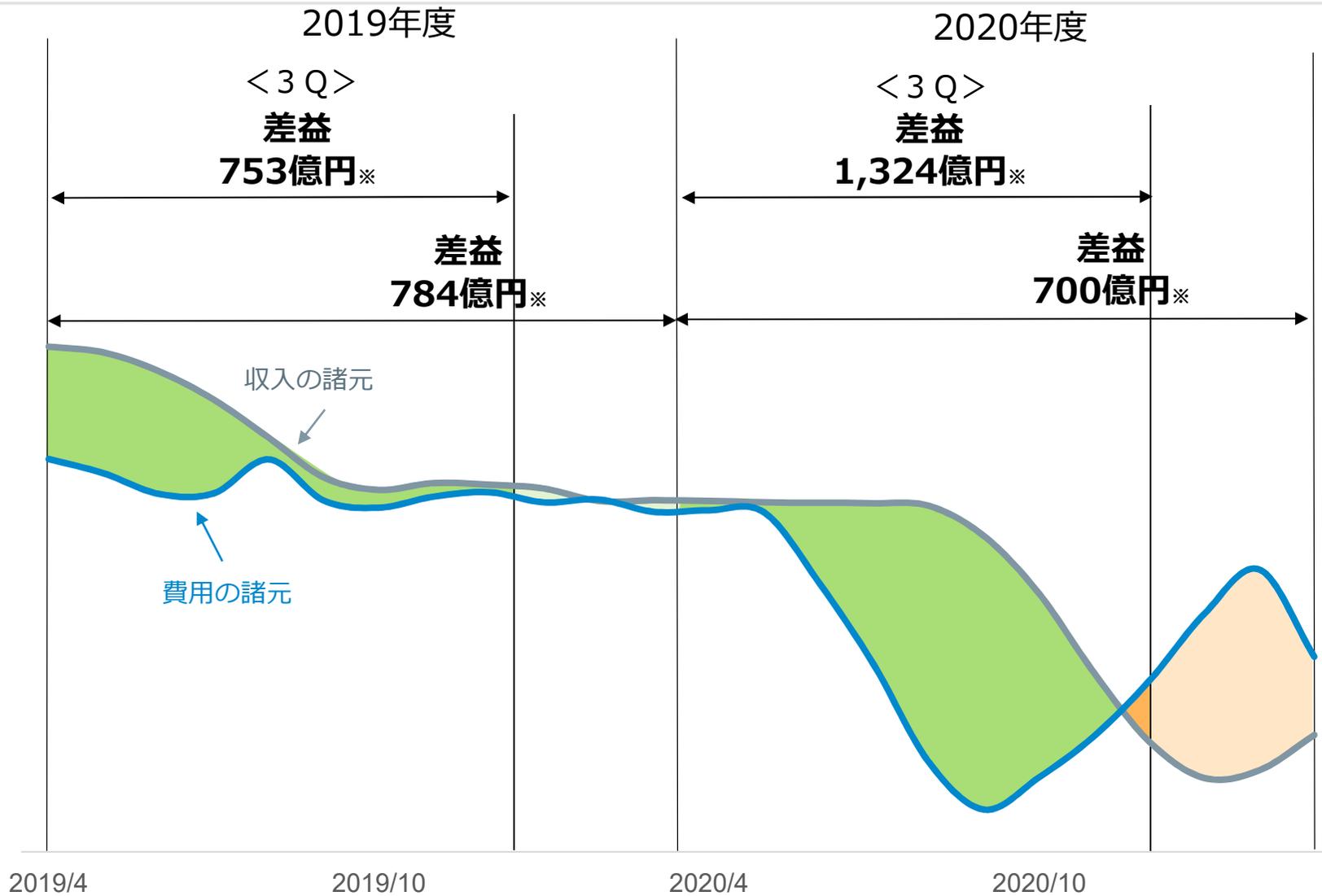
	今回予想 (A)	2019年度実績 (B)	増減(A-B)	増減率(%)
純利益	1,200	1,685	▲485程度	▲28.8

【主要諸元】

	今回予想	前回(2020/2Q)予想	【参考】2019年度実績
原油価格(JCC) (\$/b)	42程度	42程度	67.8
為替レート (円/\$)	106程度	108程度	108.7

参考情報

期ずれ影響のイメージ



※金額は税引後

販売電力量・発電電力量の推移

【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10～12月	3Q(4～12月)
2020年度	475	624	665	1,764
2019年度	599	714	664	1,977

【発電電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10～12月	3Q(4～12月)
2020年度	470	617	660	1,747
LNG	384 (82%)	529 (86%)	545 (83%)	1,457 (83%)
石炭	87 (18%)	88 (14%)	115 (17%)	289 (17%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
2019年度	599	713	663	1,974
LNG	486 (81%)	579 (81%)	539 (81%)	1,605 (81%)
石炭	111 (19%)	126 (18%)	120 (18%)	358 (18%)
重油・原油	1 (0%)	7 (1%)	3 (1%)	12 (1%)

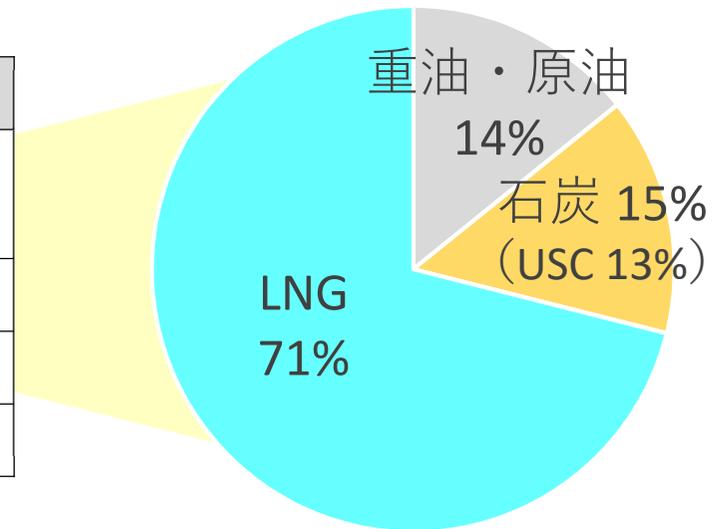
※四捨五入の関係で合計は一致しない

当社の発電出力構成

- ✓ 当社の発電出力構成は、CO2排出の少ないLNG（液化天然ガス）が大きいのが特徴。
- ✓ 石炭においては比較的CO2排出の少ない超々臨界圧発電方式（USC）が占める割合が大きいことも特徴。また、2030年までに非効率な発電所（SC以下）全台を停廃止する*1。

当社の発電出力構成*2

燃料種別	出力（発電端）
石炭 （USC再掲）	1,032万kW （892万kW）
LNG（液化天然ガス）*3	5,007万kW
重油・原油	1,005万kW
合計	7,044万kW



*1 2020年10月13日プレスリリース「2050年におけるゼロエミッションへの挑戦について」

https://www.jera.co.jp/information/20201013_539

*2 2020年3月末時点。建設中含む。共同火力保有分は除く。

*3 LPG・都市ガス含む

【格付取得状況（長期発行体格付け）】

S&P	R&I	JCR
A-	A+	AA-